



市
フォーラム
牛窪 多喜男

乳幼児突然死症候群の対策

6

問 乳幼児突然死症候群は発症原因がはっきりしていないが、遺族への支援、医師との協力、予防活動の展開等、市の今後の取り組みについて伺いたい。

答 保健医療部長 乳幼児突然死症候群（SIDS）は、あおむけ寝、保護者等の禁煙、母乳哺育という発症を予防する三つの望ましい育児習慣等について、国が啓発活動

に重点を置いた平成十一年度以降、死亡数は半数以下に減少した。本市においても、SIDSへの取り組みは予防対策を中心に啓発活動を行ってき

ており、今後はSIDS予防の啓発を更に強め、赤ちゃんのいる家庭のみならず、市民に対しても啓発活動を展開したい。
問 乳幼児突然死症候群
問 ソーシャルビジネス



啓政会
吉田 光雄

市税の滞納状況について

7

問 市税、国民健康保険税の滞納状況を踏まえ、収入率向上にむけた今後の収納対策を伺う。

答 政策財政部長 滞納者に対して今まで以上にきめ細やかな対応が重要であり、納税相談等の機会を拡大し、滞納者の生活実態等をよく伺いながら納税に結びつくよう努めたい。また、担税力のあ

る滞納者に対しては、財産調査や差押え等を行い、最終的には公売や取り立ても積極的に行う必要があると考える。効率的・効果的な滞納整理事務の執行を図るため、平成二十三年度は埼玉県の緊急雇用創出基金を活用し、滞納整理の補助的業務に従事する非常勤職員を採用していきたい。

問 市税の滞納状況
問 空地、空家の諸問題



公明党
石川 隆二

西川越駅周辺地区の将来像

8

問 第三次総合計画に地域核として位置付けている西川越駅周辺には新総合センター地区構想が凍結されたままである。今後の考え方を伺いたい。

答 市長 新総合センター地区構想の実現には大規模な都市基盤整備が必要になる。市には新河岸駅周辺地区等の整備が今後控えている状況や、人口減少社会の到来、先行き

不透明な経済状況など事業実施上の環境変化、都市計画関連の法改正もあり、この構想は凍結と言いつつも、事実上極めて困難である。したがって、当地区の有する将来の発展性を見据えつつ、行政需要等に着目し、地区の特性を生かしたまちづくりの可能性を検討していく必要がある。

問 核家族化や地域とのつながりが希薄化する中で、一人で子育てに悩む母親達の為に、子供達と母親が自由に交流の出来る施設の建設を！
答 市長 子育て中の保護者は不安や負担感が大きくなっているのが現状である。保育所等を利用する保護者は、子育てについて相談する機会があるが、在宅で子育てをする



啓政会
山口 智也

つどいの広場の早期建設を

9

保護者は不安や悩み等の相談相手もなく、ストレスがたまる状況にある。こうした状況の中で、つどいの広場の必要性はますます高まっており、本年度新設される四つの保育所内に設置を計画している。今後、利用者の意見や利用状況等を踏まえ整備を進めたい。

問 子育て支援施設の整備
問 学童保育



市
フォーラム
高橋 剛

自転車通学の安全安心対策

10

問 市内市立中学校及び市立川越高校の自転車通学生徒に対して、今後どのような交通事故対策（事故防止・補償対策）を行っていくのか。

答 学校教育部長 交通事故対策は機会ある毎に校長会等を通して各学校に指導してきた。各学校では、交通安全教室の開催や登下校時の通学路での指導、自転車通学者への

定期的な自転車点検をはじめ、地域の実態や交通事情に応じた指導をしてきた。交通事故防止の取組は、市関係部局や警察署をはじめ関係諸機関と連携を図り取組んできた。今後、生徒が加害者になることもあるので、学校で具体的に指導するとともに保護者会等を通して意識啓発を図りたい。

問 自転車通学の安全安心確保



民主党
片野 広隆

乳幼児を感染症から守る！

11

問 RSVウイルス感染症や感染力性胃腸炎など免疫の弱い乳幼児が発症・重篤化しやすい感染症への予防方法を広報で特集するなど対策を強化しては？

答 保健医療部長 寒く乾燥しやすい冬は、乳幼児が感染症にかかりやすく、また、重症化しやすい傾向にあるので、広報等で特集を組むなど積極的な啓発について検討してい

く。なお、保育園や幼稚園などでは感染症の発生状況など、施設と保健所の情報交換を密に行う他、施設従事者への感染症対策研修会を開催するなど、予防・啓発・指導に努めている。今年七月十四日に研修会を開催したが、今後も感染動向を踏まえて啓発指導をしていく。

問 感染症予防対策
問 スポーツと地域活性化



民主党 山木綾子

ワクチン接種の全額助成を

12

問 乳幼児の致死率が高く、重度の後遺症が残る細菌性髄膜炎はヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種で予防できる。ワクチン接種の全額助成を求めたい。

答 市長 ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンについては、国の平成二十二年度補正予算の成立を受け、全国の自治体でも費用助成に向けての検討が進められていると



啓政会 松井 釜太郎

住民に配慮した燃料補給を

13

問 市の天然ガスごみ収集車が燃料補給の為に、車両が続けて通行することに対し、周辺住民への配慮が必要ではないか。

答 環境部長 天然ガスの充填所は、市内では南台に一箇所、近隣では坂戸市千代田に一箇所ある。一日あたり二十台程度が燃料を補給しており、このうち南台で五台、坂戸

聞く。この二つのワクチンの費用助成の実施については、全額助成するとなると、多額の費用がかかるのであるが、多くの子どもたちのかけがえのない命を守るため、補助の詳細が明らかになり次第、その実現に向け、前向きに検討をしていきたいと考えている。
問 やすらぎのさと
問 ヒブ・肺炎球菌



坂戸の充填所は、車両の保管場所である資源化センターに6kmと近く、交通状況も良いため台数が多くなっている。坂戸の充填所の使用にあたり、周辺住民から、車両の通行緩和策についての要望もあることから、今後、通行時間の分散や新たな通行ルートを検討したい。
問 天然ガス自動車
問 公共施設の植栽の管理



無所属 川口啓介

食育が行える給食環境へ

14

問 多くの児童・生徒が給食を残す理由に時間が短いことを挙げている現状では食育充実どころではない。国の方針に沿えるよう給食時間の再検討を。

答 学校教育部長 ゆとり ある給食時間の確保については、時間を多く設定することが望ましいと考えている。しかし、学校の教育活動は限られた時間の中で実施されるため、



早稲薺 柿田 有一

市民の声活かす学童保育を

15

問 学童保育は40年間保護者や指導員が市と協働して発展させてきた。今後とも保護者等とこまめな意見交換が必要ではないか。

答 教育総務部長 多くの保護者から「担当職員が学童保育の現場に足を運び、保護者の意見や要望を聞くことが大事である。」又、「保護者へのアンケートを実施すべきだ。」等の意見を聞いて

給食の時間を延ばした場合、各学校の教育課程全体に影響を与えることになる。教育委員会としては、今後とも給食時間について、学級活動等を通して学級内で協力し、配膳や片付けの仕方を工夫し、実際に食事をする時間を増やしていくなど、再度検討していきたい。
問 学校給食
問 自然環境の保護



いる。保護者との意見交換をすることは必要なことであり、今後も、意見交換の機会を確保するとともに、担当する職員も学童保育の現場に足を運び、より多くの保護者から、意見や要望を聞き、学童保育の充実を図っていききたい。
問 教育環境整備を
問 子育て新システム
問 名細霞ケ関の道路整備



早稲薺 川口知子

住宅リフォーム補助

16

問 景気低迷する今だからこそ、経済効果の高い住宅改修補助金を緊急経済対策として補正も含め予算を増やすべきだが市長の見解を求めたい。

答 市長 住宅改修補助金については、市内建設業者の振興が図れるばかりでなく、地域経済にとっても一定の波及効果もたらされるもので、予算規模が大きいほどその効



早稲薺 本山 修一

中央公民館の施設改善を

17

問 消防局の立ち入り検査の際防火区画の未設置と指摘を受け、どう改善対策を行っていくのか。

答 市長 ※ 平成十六年の十一月に消防局の立ち入り検査が行われた際、「階段部分が吹き抜けになっており、火災等の際、煙等を遮断して他の階への影響を抑えることができない」という防火区画の未設置の指摘を受けて

果は一層大きくなる。この制度は市の経済対策として重要な施策であるので、今後も継続していきたい。緊急経済対策として、一定期間金額を増やしてはどうか、期間を限定して実施してはどうかとの提案は、貴重な意見として検討していきたい。
問 TPPの市への影響
問 地域経済活性化
問 魅力的な児童館を

いる。消防法上のこの指摘事項について、現在のところ対応ができていない状況である。公民館は言うまでもなく、市民の方が多く利用する施設であるので、今後指摘事項の改善に向けて、早期に関係部署と協議し、検討していきたい。
問 来年度予算編成
問 介護保険制度
問 中央公民館

